

「社会資本分野における技術研究開発の基本的方向」の概要

背景

- 平成13年3月に「第2期科学技術基本計画」(平成13～17年度)の閣議決定
 - 平成13年9月に「分野別推進戦略」(ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料、エネルギー、製造技術、社会基盤、フロンティア)の策定
- 目的
- 社会資本技術開発会議において、社会資本分野の技術研究開発の方向性や振興策等を取りまとめ
 - 目標等の具体化、制度面の充実等を図り、豊かな国民生活の実現に必要な施策、社会資本整備の技術的裏付けとしての技術研究開発を推進、民間の技術開発を支援

社会資本分野：河川、下水道、ダム、砂防、道路、住宅、建築物、都市などの国土の総合的かつ体系的な利用、開発及び保全に関する分野

1. 技術研究開発の基本方針

1-1 我が国の課題

社会経済情勢の変化への対応

高齢社会への対応

情報通信革命への対応

環境・資源エネルギー問題への対応

1-2 我が国が目指すべき国の姿

知の創造と活用により世界に貢献できる国

国際競争力があり持続的発展ができる国

安心・安全で質の高い生活ができる国

1-3 技術研究開発の方向性(現状課題・目指すべき方向・技術研究開発テーマ)

1. 安全と安心の確保

- 災害・事故の防止・減災
- 災害・事故からの復旧・復興
- 新たなタイプの災害や事故、犯罪への対応

2. 社会の活力の維持

多様性と主体性の尊重

- 個人の多様性と主体性の尊重
- 地域の多様性と主体性の尊重

交流・連携の促進

- IT化への対応と人・物の流れの高度化

経済活力の維持発展

- 生産性向上

3. 都市の再生と美しい国土の形成

- 都市の再生
- 自然共生
- 生活環境保全
- 景観創造

4. 地球環境問題への対応

- 地球規模での環境問題やエネルギー問題に関する技術

5. 国際社会への参画と貢献

- 国際社会の課題に関する技術

人文・社会科学と融合したソフト技術の高度化

「限りある地球」という認識を持った整備

質の高い生活環境の整備

社会資本ストックの有効な利活用

2. 技術研究開発の振興方策

【課題】

技術研究開発の推進に当たって、人材の育成・確保、基盤整備、技術研究開発システム、組織を超えた連携・交流、研究者と社会とのコミュニケーションが十分でない等の課題

1. 優れた社会資本技術関係人材の育成・確保

- 技術者の育成・確保

2. 社会資本技術振興のための基盤の整備

- 施設・設備の計画的・重点的整備
- 知的基盤の整備
- 標準化への積極的対応
- 技術研究開発の情報基盤の整備
- ものづくりの基盤の整備

3. 技術研究開発システムの改革

- 技術研究開発ニーズ等の把握
- 優れた成果を生み出す技術研究開発システムの構築
- 研究機関における技術研究開発の推進と改革

4. 産業技術力の強化と多様な連携の促進

- 新技術の積極的活用の推進
- 民間の技術開発を誘導、支援するための環境整備
- 情報通信・人材交流の仕組みの改革
- 技術研究開発を通じた企業間の連携支援
- 公的研究機関から産業への技術移転の環境整備
- 公的研究機関の研究成果を活用した事業化の促進

5. 地域における社会資本技術振興のための環境整備

- 地域における「知的クラスター」の形成
- 地域における社会資本技術施策の円滑な展開

6. 社会とのチャンネルの構築

- 社会資本技術に関する学習の振興
- 社会とのチャンネルの構築
- 学会等の活動の促進

7. 社会資本技術に関する社会的責任

- 研究者・技術者の社会的責任
- 説明責任

8. 社会資本技術の国際化の推進

- 主体的な国際協力活動の展開
- 国際的な情報発信力の強化
- 国内の技術研究開発環境の国際化
- 社会資本技術の国際競争力の強化